

D－I's 日経225 インデックス

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式／インデックス型		
信託期間	約14年9カ月間（2013年12月9日～2028年9月19日）		
運用方針	投資成果を日経平均株価（日経225）の動きに連動させることをめざして運用を行います。		
主 要 投 資 対 象	ベビーファンド	ストックインデックス225・マザーファンドの受益証券	
	ストックインデックス225・マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式のうち日経平均株価に採用された銘柄	
マザー ファンドの 運用方法	投資成果を日経平均株価の動きにできるだけ連動させるため、次のポートフォリオ管理を行います。 イ. 上記投資対象銘柄のうちの200銘柄以上に、原則として、等株数投資を行います。 ロ. 株式の組入比率は、高位を保ちます。		
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行いません。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

運用報告書(全体版) 第5期

(決算日 2018年9月19日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「D－I's 日経225インデックス」は、このたび、第5期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			日 経 平 均 株 価		株 式 組入比率	株 式 先物比率	純資産 総 額
		税込み 分配金	期 中 騰落率	(ベンチマーク)	期 中 騰落率			
	円	円	%	円	%	%	%	百万円
1 期末 (2014年 9 月19日)	10,747	0	7.5	16,321.17	6.7	98.2	1.8	359
2 期末 (2015年 9 月24日)	11,712	0	9.0	17,571.83	7.7	98.4	1.6	234
3 期末 (2016年 9 月20日)	11,162	0	△ 4.7	16,492.15	△ 6.1	98.6	1.4	212
4 期末 (2017年 9 月19日)	13,933	0	24.8	20,299.38	23.1	97.2	1.8	249
5 期末 (2018年 9 月19日)	16,493	0	18.4	23,672.52	16.6	97.8	1.1	360

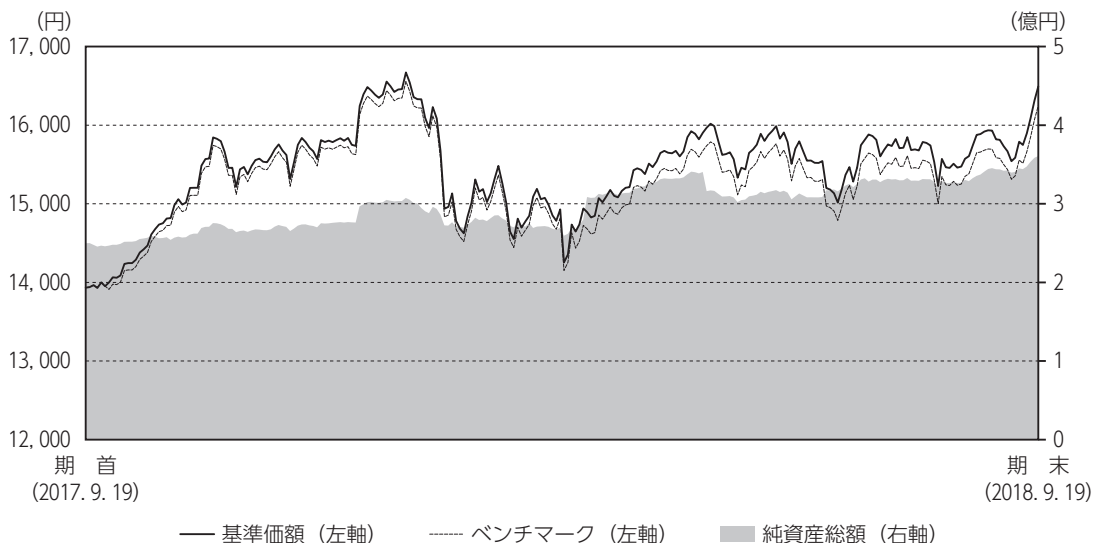
(注 1) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 2) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) ベンチマークは、期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*ベンチマークは日経平均株価です。

基準価額・騰落率

期 首：13,933円

期 末：16,493円

騰落率：18.4%

基準価額の主な変動要因

ベンチマーク（日経平均株価）への連動をめざした運用を行なった結果、ベンチマークの動きを反映して、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

D－I’s 日経225インデックス

年 月 日	基 準 価 額		日 経 平 均 株 価		株 式 組入比率	株 式 先物比率
		騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率		
	円	%	円	%	%	%
(期首) 2017年 9 月19日	13, 933	—	20, 299. 38	—	97. 2	1. 8
9 月末	14, 059	0. 9	20, 356. 28	0. 3	97. 2	2. 8
10月末	15, 203	9. 1	22, 011. 61	8. 4	98. 1	1. 9
11月末	15, 693	12. 6	22, 724. 96	11. 9	97. 5	2. 4
12月末	15, 736	12. 9	22, 764. 94	12. 1	97. 7	2. 3
2018年 1 月末	15, 963	14. 6	23, 098. 29	13. 8	98. 0	1. 9
2 月末	15, 260	9. 5	22, 068. 24	8. 7	97. 8	2. 2
3 月末	14, 940	7. 2	21, 454. 30	5. 7	97. 9	2. 1
4 月末	15, 646	12. 3	22, 467. 87	10. 7	98. 0	2. 0
5 月末	15, 458	10. 9	22, 201. 82	9. 4	97. 5	2. 5
6 月末	15, 544	11. 6	22, 304. 51	9. 9	98. 6	1. 4
7 月末	15, 712	12. 8	22, 553. 72	11. 1	98. 5	1. 5
8 月末	15, 932	14. 3	22, 865. 15	12. 6	98. 8	1. 2
(期末) 2018年 9 月19日	16, 493	18. 4	23, 672. 52	16. 6	97. 8	1. 1

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 9. 20 ~ 2018. 9. 19)

国内株式市況

国内株式市況は、期首より、米国の2017年内の利上げ観測が高まり円安米ドル高となったことや、北朝鮮に関わる地政学リスクが後退したこと、2017年10月に行なわれた衆議院議員選挙で連立与党が勝利したことなどを受け、上昇しました。その後も、堅調な国内企業業績や、米国税制改革法案の議会審議の進展および同法の成立が好感され、株価は上昇しました。しかし、2018年2月に米国の長期金利が急上昇したこと、また3月に米国が新たな関税を課す方針を示し貿易摩擦激化への懸念が高まったことにより、株価は下落しました。4月以降は、米国の保護主義的な政策への警戒感が強まる一方、堅調な景気や企業業績が評価される局面があったことや、通商問題でも一部で妥協を探る動きなどがあり、株価は横ばい圏で推移しました。9月中旬に米中貿易摩擦への懸念が和らぐと、上昇して期末を迎えました。

前期における「今後の運用方針」

当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークに連動する投資成果をめざして「ストックインデックス225・マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れて運用を行なっております。

ストックインデックス225・マザーファンド

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマーク（日経平均株価）に連動する投資成果をめざして運用を行なっております。

ポートフォリオについて

(2017. 9. 20 ~ 2018. 9. 19)

■当ファンド

「ストックインデックス225・マザーファンド」の受益証券をほぼ100%組み入れて運用を行ないました。

■ストックインデックス225・マザーファンド

株式の組み入れを中心に、日経平均先物取引も一部利用し、期を通じて、実質株式組入比率をおおむね99%程度以上の水準に維持しました。

株式ポートフォリオにつきましては、日経平均株価採用銘柄のうち当社独自の基準で財務リスクが高いと判断される銘柄を除いた残りすべての銘柄に投資を行ない、日経平均株価の動きに連動するように、ポートフォリオを構築し運用しております。当期につきましては、日経平均株価に採用されている全銘柄を組み入れて運用を行ないました。

また、日経平均株価採用銘柄の入れ替え時には、その都度、組入銘柄の入れ替えを行ない、連動性の維持に努めました。

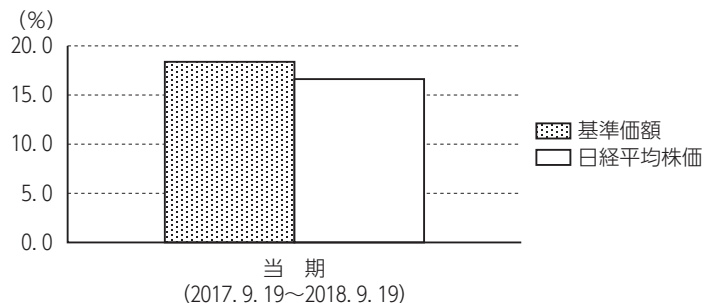
ベンチマークとの差異について

ベンチマーク（日経平均株価）の騰落率は16.6%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は18.4%となりました。

ほぼ100%組み入れているマザーファンドに組入銘柄の配当金が計上されたのに対し、ベンチマークである日経平均株価には配当金の影響が考慮されていないことが、プラスのかい離要因となりました。

また、ファンドから信託報酬等コストが控除されたことがマイナス要因となりました。

以下のグラフは当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



分配金について

当期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益の分配は見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2017年9月20日 ～2018年9月19日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	6,493

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークに連動する投資成果をめざして「ストックインデックス225・マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れて運用を行なってまいります。

■ストックインデックス225・マザーファンド

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行なってまいります。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 9. 20～2018. 9. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	67円	0. 432%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は15, 445円です。
(投 信 会 社)	(32)	(0. 205)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(30)	(0. 194)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(5)	(0. 032)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	0	0. 001	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(0)	(0. 000)	
(先物・オプション)	(0)	(0. 001)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 006	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0. 005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	68	0. 439	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況
(2017年9月20日から2018年9月19日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ストックインデックス225・マザーファンド	53,492	144,275	31,544	85,333

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合
(2017年9月20日から2018年9月19日まで)

項 目	当 期
	ストックインデックス225・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	57,574,632千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	143,394,728千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.40

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等
(1) ベビーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況
当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況
(2017年9月20日から2018年9月19日まで)

決 算 期	当 期					
区 分	買付額等 A	うち 利 害 関 係 人 と の 取 引 状 況 B	B/A	売付額等 C	うち 利 害 関 係 人 と の 取 引 状 況 D	D/C
株式	百万円 30,367	百万円 4,780	% 15.7	百万円 27,206	百万円 —	% —
株式先物取引	42,950	—	—	44,114	—	—
コール・ローン	446,883	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.2%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 利害関係人の発行する有価証券等
(2017年9月20日から2018年9月19日まで)

種 類	当 期		
	買 付 額	売 付 額	期末保有額
	百万円	百万円	百万円
株式	33	30	174

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

(4) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券
(2017年9月20日から2018年9月19日まで)

種 類	当 期
	ストックインデックス225・マザーファンド
	買 付 額
	百万円
株式	319

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

(5) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券、大和証券グループ本社です。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ストックインデックス225・マザーファンド	102,430	124,378	360,684

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年9月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ストックインデックス225・マザーファンド	360,684	99.3
コール・ローン等、その他	2,440	0.7
投資信託財産総額	363,125	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年9月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	363,125,309円
コール・ローン等	744,834
ストックインデックス225・マザーファンド(評価額)	360,684,475
未収入金	1,696,000
(B) 負債	2,379,417
未払解約金	1,672,851
未払信託報酬	697,919
その他未払費用	8,647
(C) 純資産総額(A-B)	360,745,892
元本	218,723,193
次期繰越損益金	142,022,699
(D) 受益権総口数	218,723,193口
1万口当り基準価額(C/D)	16,493円

*期首における元本額は179,340,552円、当期中における追加設定元本額は101,043,548円、同解約元本額は61,660,907円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は16,493円です。

■損益の状況

当期 自 2017年9月20日 至 2018年9月19日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 90円
受取利息	9
支払利息	△ 99
(B) 有価証券売買損益	44,451,812
売買益	51,357,789
売買損	△ 6,905,977
(C) 信託報酬等	△ 1,298,831
(D) 当期損益金(A+B+C)	43,152,891
(E) 前期繰越損益金	33,697,960
(F) 追加信託差損益金	65,171,848
(配当等相当額)	(42,246,257)
(売買損益相当額)	(22,925,591)
(G) 合計(D+E+F)	142,022,699
次期繰越損益金(G)	142,022,699
追加信託差損益金	65,171,848
(配当等相当額)	(42,246,257)
(売買損益相当額)	(22,925,591)
分配準備積立金	76,850,941
繰越損益金	△ 90

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	43,152,937
(c) 収益調整金	65,171,848
(d) 分配準備積立金	33,698,004
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	142,022,789
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	142,022,789
(h) 受益権総口数	218,723,193口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

【注記】

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は日経平均株価を継続的に公表する義務を負うものではなく、その誤謬、遅延または中断に関して責任を負いません。また、「D-I's 日経225インデックス」について、日本経済新聞社は一切の責任を負うものではありません。

ストックインデックス 225・マザーファンド

運用報告書 第17期（決算日 2018年 9 月19日）

（計算期間 2017年 9 月20日～2018年 9 月19日）

ストックインデックス 225・マザーファンドの第17期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	わが国の株式市場の動きと長期成長をとらえることを目標に、日経平均株価をモデルとして運用を行ないます。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所上場株式のうち日経平均株価に採用された銘柄
運用方法	投資成果を日経平均株価の動きにできるだけ連動させるため、次のポートフォリオ管理を行ないます。 イ. 上記投資対象銘柄のうちの200銘柄以上に、原則として、等株数投資を行ないます。 ロ. 株式の組入比率は、高位を保ちます。
株式組入制限	無制限

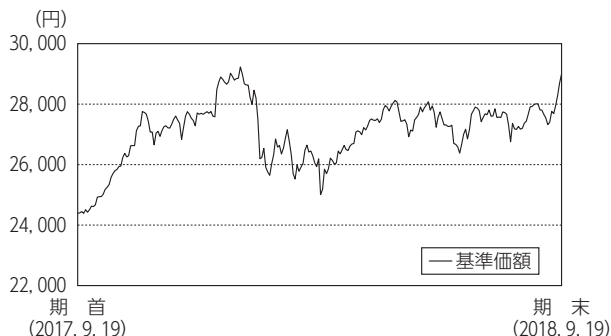
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		日経平均株価 (ベンチマーク)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
	円	%	円	%	%	%
(期首)2017年9月19日	24,389	—	20,299.38	—	97.2	1.8
9月末	24,613	0.9	20,356.28	0.3	97.2	2.8
10月末	26,626	9.2	22,011.61	8.4	98.1	1.9
11月末	27,495	12.7	22,724.96	11.9	97.6	2.4
12月末	27,580	13.1	22,764.94	12.1	97.7	2.3
2018年1月末	27,989	14.8	23,098.29	13.8	98.0	1.9
2月末	26,765	9.7	22,068.24	8.7	97.8	2.2
3月末	26,214	7.5	21,454.30	5.7	98.0	2.1
4月末	27,462	12.6	22,467.87	10.7	98.0	2.0
5月末	27,143	11.3	22,201.82	9.4	97.6	2.5
6月末	27,303	11.9	22,304.51	9.9	98.6	1.4
7月末	27,609	13.2	22,553.72	11.1	98.5	1.5
8月末	28,005	14.8	22,865.15	12.6	98.8	1.2
(期末)2018年9月19日	28,999	18.9	23,672.52	16.6	97.9	1.1

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：24,389円 期末：28,999円 騰落率：18.9%

【基準価額の主な変動要因】

ベンチマーク（日経平均株価）への連動をめざした運用を行なった結果、ベンチマークの動きを反映して、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○国内株式市況

国内株式市況は、期首より、米国の2017年内の利上げ観測が高まり円安米ドル高となったことや、北朝鮮に関わる地政学リスクが後退したこと、2017年10月に行なわれた衆議院議員選挙で連立与党が勝利したことなどを受け、上昇しました。その後も、堅調な国内企業業績や、米国税制改革法案の議会審議の進展および同法の成立が好感され、株価は上昇しました。しかし、2018年2月に米国の長期金利が急上昇したこと、また3月に米国が新たな関税を課す方針を示し貿易摩擦激化への懸念が高まったことにより、株価は下落しました。4月以降は、米国の保護主義的な政策への警戒感が強まる一方、堅調な景気や企業業績が評価される局面があったことや、通商問題でも一部で妥協を探る動きなどがあり、株価は横ばい圏で推移しました。9月中旬に米中貿易摩擦への懸念が和らぐと、上昇して期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行なっています。

◆ポートフォリオについて

株式の組み入れを中心に、日経平均先物取引も一部利用し、期を通じて、実質株式組入比率をおおむね99%程度以上の水準に維持しました。

株式ポートフォリオにつきましては、日経平均株価採用銘柄のうち当社独自の基準で財務リスクが高いと判断される銘柄を除いた残りすべての銘柄に投資を行ない、日経平均株価の動きに連動するように、ポートフォリオを構築し運用しております。当期につきましては、日経平均株価に採用されている全銘柄を組み入れて運用を行ないました。

また、日経平均株価採用銘柄の入れ替え時には、その都度、組入銘柄の入れ替えを行ない、連動性の維持に努めました。

◆ベンチマークとの差異について

ベンチマーク（日経平均株価）の騰落率は16.6%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は18.9%となりました。

- ・ファンドには保有している株式の配当金が計上されたのに対して、ベンチマークである日経平均株価では配当金の影響が考慮されないことが、プラス要因となりました。
- ・資金の流出入に伴う現物株式および株式先物の売買等によるコスト負担等が、マイナス要因となりました。

《今後の運用方針》

当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行なっています。

スtockインデックス225・マザーファンド

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	0円 (0) (0)
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	1

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(2017年 9 月20日から2018年 9 月19日まで)

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
国内	千株 9, 299. 6 (△ 7, 336. 8)	千円 30, 367, 771 (—)	千株 8, 566. 9	千円 27, 206, 861

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) (—)内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

(2)先物取引の種別取引状況

(2017年 9 月20日から2018年 9 月19日まで)

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
国内	株式先物取引	百万円 42, 950	百万円 44, 114	百万円 —	百万円 —

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株 式

(2017年 9 月20日から2018年 9 月19日まで)

当 期				期			
買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
ファーストリテイリング	48	2, 167, 229	45, 150	ファーストリテイリング	46	1, 900, 611	41, 317
リクルートホールディングス	864	2, 163, 470	2, 504	ソフトバンクグループ	138	1, 327, 666	9, 620
ソフトバンクグループ	144	1, 248, 434	8, 669	ファナック	46	1, 106, 318	24, 050
ファナック	48	1, 219, 059	25, 397	東京エレクトロン	46	857, 742	18, 646
東京エレクトロン	48	941, 421	19, 612	KDD I	276	831, 705	3, 013
KDD I	288	808, 922	2, 808	京セラ	92	653, 865	7, 107
京セラ	96	604, 820	6, 300	ダイキン工業	46	580, 818	12, 626
ダイキン工業	48	601, 392	12, 529	信越化学	46	488, 696	10, 623
テルモ	96	544, 624	5, 673	テルモ	92	478, 152	5, 197
信越化学	48	524, 609	10, 929	日東電工	46	432, 894	9, 410

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内株式

銘柄	期首			銘柄	期首			銘柄	期首		
	株数	株数	評価額		株数	株数	評価額		株数	株数	評価額
	千株	千株	千円		千株	千株	千円		千株	千株	千円
水産・農林業 (0.2%)				三菱ケミカル HLDGS	125	126	127,323	フジクラ	250	252	152,208
日本水産	250	252	161,532	宇部興産	250	25.2	71,895	金属製品 (0.4%)			
マルハニチロ	25	25.2	102,438	日本化薬	250	252	331,884	SUMCO	25	25.2	42,184
鉱業 (0.1%)				花王	250	252	2,281,860	東洋製罐グループHD	250	252	584,388
国際石油開発帝石	100	100.8	138,448	富士フイルム HLDGS	250	252	1,287,468	機械 (5.2%)			
建設業 (2.5%)				資生堂	250	252	1,997,856	日本製鋼所	50	50.4	140,666
コムシスホールディングス	250	252	817,740	日東電工	250	252	2,146,032	オークマ	250	50.4	312,480
大成建設	250	50.4	252,504	医薬品 (8.5%)				アマダホールディングス	250	252	294,084
大林組	250	252	274,176	協和発酵キリン	250	252	528,444	小松製作所	250	252	827,064
清水建設	250	252	252,252	武田薬品	250	252	1,180,872	住友重機械	250	50.4	196,560
長谷工コーポレーション	50	50.4	75,297	アステラス製薬	1,250	1,260	2,528,190	日立建機	250	252	888,300
鹿島建設	250	252	202,356	大日本住友製薬	250	252	611,604	クボタ	250	252	465,696
大和ハウス	250	252	831,852	塩野義製薬	250	252	1,818,432	荏原製作所	50	50.4	196,560
積水ハウス	250	252	436,716	中外製薬	250	252	1,758,960	ダイキン工業	250	252	3,932,460
日揮	250	252	605,556	エーザイ	250	252	2,657,340	日本精工	250	252	319,536
千代田化工建	250	252	213,948	第一三共	250	252	1,154,160	N T N	250	252	115,920
食料品 (4.5%)				大塚ホールディングス	250	252	1,364,076	ジェイテクト	250	252	411,012
日清製粉G本社	250	252	583,128	石油・石炭製品 (0.5%)				日立造船	50	50.4	23,234
明治ホールディングス	50	50.4	375,480	昭和シエル石油	250	252	611,604	三菱重工業	250	25.2	104,907
日本ハム	250	126	510,300	JXTG ホールディングス	250	252	210,420	I H I	250	25.2	111,762
サッポロホールディングス	50	50.4	117,784	ゴム製品 (0.9%)				電気機器 (17.6%)			
アサヒグループホールディングス	250	252	1,241,352	横浜ゴム	125	126	300,384	日清紡ホールディングス	250	252	332,136
キリンHD	250	252	732,564	ブリヂストン	250	252	1,069,740	コニカミノルタ	250	252	298,368
宝ホールディングス	250	252	383,544	ガラス・土製品 (1.5%)				ミネベアミツミ	250	252	540,036
キッコーマン	250	252	1,670,760	A G C	50	50.4	238,392	日立	250	252	188,294
味の素	250	252	481,950	日本板硝子	25	25.2	30,567	三菱電機	250	252	384,678
ニチレイ	125	126	363,384	日本電気硝子	75	75.6	261,954	富士電機	250	252	233,352
日本たばこ産業	250	252	753,480	住友大阪セメント	250	252	122,724	安川電機	250	252	882,000
繊維製品 (0.2%)				太平洋セメント	250	25.2	86,688	明電舎	250	—	—
東洋紡	250	25.2	47,527	東海カーボン	250	252	520,128	ジーエス・ユアサ コーポ	250	252	140,364
ユニチカ	250	25.2	17,791	T O T O	125	126	616,770	日本電気	250	25.2	77,112
帝人	50	50.4	111,535	日本碍子	250	252	455,112	富士通	250	252	205,279
東レ	250	252	218,383	鉄鋼 (0.2%)				沖電気	25	25.2	36,288
パルプ・紙 (0.2%)				新日鐵住金	25	25.2	58,224	セイコーエプソン	500	504	984,816
王子ホールディングス	250	252	205,632	神戸製鋼所	25	25.2	24,091	パナソニック	250	252	339,570
日本製紙	25	25.2	51,206	J F Eホールディングス	25	25.2	62,924	ソニー	250	252	1,683,864
北越コーポレーション	250	—	—	日新製鋼	25	25.2	40,622	T D K	250	252	3,071,880
化学 (8.8%)				大平洋金属	250	25.2	94,626	アルプス電気	250	252	784,980
クラレ	250	252	413,784	非鉄金属 (1.1%)				パイオニア	250	252	26,964
旭化成	250	252	425,880	日本軽金属HD	250	252	62,244	横河電機	250	252	591,948
昭和電工	25	25.2	136,080	三井金属	250	25.2	77,616	アドバンテス	500	504	1,212,624
住友化学	250	252	162,540	東邦亜鉛	250	25.2	102,060	カシオ	250	252	468,720
日産化学	250	252	1,512,000	三菱マテリアル	25	25.2	81,774	ファナック	250	252	5,586,840
東ソー	250	126	216,972	住友鉱山	250	126	477,036	京セラ	500	504	3,335,976
トクヤマ	250	50.4	154,980	DOWA ホールディングス	250	50.4	175,392	太陽誘電	250	252	708,372
デンカ	250	50.4	192,024	古河機金	250	25.2	41,202	SCREEN ホールディングス	50	50.4	368,424
信越化学	250	252	2,477,916	古河電工	25	25.2	94,248	キヤノン	375	378	1,343,034
三井化学	250	50.4	143,035	住友電工	250	252	453,348	リコー	250	252	300,132

ストックインデックス225・マザーファンド

銘 柄	期 首		当 期 末		銘 柄	期 首		当 期 末		銘 柄	期 首		当 期 末		
	株 数	千 株	株 数	評 価 額		株 数	千 株	株 数	評 価 額		株 数	千 株	株 数	評 価 額	
東京エレクトロン	250	252	4,125,240		トレンドマイクロ	250	252	1,794,240		不動産業 (1.6%)					
輸送用機器 (5.8%)					スカパー JSATHD	25	25.2	13,910			東急不動産HD	250	252	198,576	
デンソー	250	252	1,438,164		日本電信電話	50	50.4	259,761			三井不動産	250	252	664,398	
三井E&SHD	250	25.2	51,030		KDDI	1,500	1,512	4,672,080			三菱地所	250	252	486,360	
川崎重工業	250	25.2	79,758		NTTドコモ	25	25.2	76,834			東京建物	125	126	171,486	
日産自動車	250	252	273,798		東宝	25	25.2	89,334		住友不動産	250	252	1,005,732		
いすゞ自動車	125	126	220,752		NTTデータ	1,250	1,260	1,964,340		サービス業 (4.5%)					
トヨタ自動車	250	252	1,768,788		コナミホールディングス	250	252	1,078,560			ディー・エヌ・エー	75	75.6	145,076	
日野自動車	250	252	311,472		ソフトバンクグループ	750	756	8,251,740			電通	250	252	1,307,880	
三菱自動車工業	25	25.2	19,807		卸売業 (2.3%)						楽天	250	252	211,831	
マツダ	50	50.4	66,654			双日	25	25.2	10,155			リクルートホールディングス	—	756	2,770,740
本田技研	500	504	1,705,032			伊藤忠	250	252	527,310		日本郵政	—	252	338,436	
スズキ	250	252	1,789,452			丸紅	250	252	251,344		東京ドーム	125	126	126,882	
SUBARU	250	252	823,788			豊田通商	250	252	1,030,680		セコム	250	252	2,341,836	
ヤマハ発動機	250	252	737,604		三井物産	250	252	495,306		合計					
精密機器 (3.2%)					住友商事	250	252	472,878			株 数、金 額	50,187.5	43,583.4	160,769,568	
	テルモ	500	504	3,291,120	三菱商事	250	252	875,196		銘柄数<比率>	225銘柄	225銘柄	<97.9%>		
	ニコン	250	252	539,784	小売業 (12.7%)					(注1) 銘柄欄の()内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。					
	オリンパス	250	252	1,127,700		J.フロントリテイリング	125	126	208,404		(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。				
	シチズン時計	250	252	187,236		三越伊勢丹HD	250	252	340,452		(注3) 評価額の単位未満は切捨て。				
その他製品 (1.3%)				セブン&アイ・HLDGS		250	252	1,285,200							
	凸版印刷	250	252	229,572		ユニ・ファミリーマートHD	250	252	2,787,120						
	大日本印刷	250	126	334,530	高島屋	250	126	234,360							
	ヤマハ	250	252	1,469,160	丸井グループ	250	252	677,880							
	電気・ガス業 (0.2%)				イオン	250	252	671,202							
東京電力HD		25	25.2	13,482	ファーストリテイリング	250	252	14,169,960							
中部電力		25	25.2	43,054	銀行業 (0.8%)										
関西電力		25	25.2	41,139		コンソルディア・フィナンシャル	250	252	137,844						
東京瓦斯		250	50.4	139,658		新生銀行	250	25.2	44,528						
大阪瓦斯	250	50.4	109,922	あおぞら銀行		250	25.2	101,052							
陸運業 (2.3%)				三菱UFJフィナンシャルG		250	252	177,080							
	東武鉄道	250	50.4	171,612	リソナホールディングス	25	25.2	15,732							
	東京急行	125	126	258,930	三井住友トラストHD	25	25.2	115,340							
	小田急電鉄	125	126	340,956	三井住友フィナンシャルG	25	25.2	114,357							
	京王電鉄	250	50.4	315,000	千葉銀行	250	252	186,732							
京成電鉄	125	126	495,180	ふくおかフィナンシャルG	250	252	158,760								
東日本旅客鉄道	25	25.2	268,884	静岡銀行	250	252	243,936								
西日本旅客鉄道	25	25.2	196,887	みずほフィナンシャルG	250	252	49,971								
東海旅客鉄道	25	25.2	586,404	証券、商品先物取引業 (0.4%)											
日本通運	250	25.2	187,236		大和証券G本社	250	252	174,384							
ヤマトホールディングス	250	252	849,996		野村ホールディングス	250	252	136,508							
海運業 (0.1%)					松井証券	250	252	301,392							
	日本郵船	250	25.2		53,298	保険業 (1.0%)									
	商船三井	250	25.2	79,632	SOMPOホールディングス		62.5	63	298,998						
	川崎汽船	250	25.2	56,624	MS&AD		75	75.6	276,620						
	空運業 (0.1%)				SONYFH		50	50.4	120,859						
ANAホールディングス		250	25.2	99,414	第一生命HLDGS		25	25.2	57,997						
倉庫・運輸関連業 (0.2%)					東京海上HD	125	126	686,322							
		三菱倉庫	250	126	353,682	T&Dホールディングス	50	50.4	90,064						
		情報・通信業 (11.3%)				その他金融業 (0.3%)									
	情報・通信業														
	ヤフー		100	100.8	41,126		クレディセゾン	250	252	453,852					

■投資信託財産の構成

2018年9月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	160,769,568	96.6
コール・ローン等、その他	5,681,961	3.4
投資信託財産総額	166,451,530	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年9月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	167,241,390,410円
コール・ローン等	1,698,693,137
株式（評価額）	160,769,568,960
未収入金	3,877,834,313
未収配当金	105,434,000
差入委託証拠金	789,860,000
(B) 負債	2,956,147,788
未払解約金	2,089,819,500
差入委託証拠金代用有価証券	866,300,000
その他未払費用	28,288
(C) 純資産総額（A－B）	164,285,242,622
元本	56,651,695,845
次期繰越損益金	107,633,546,777
(D) 受益権総口数	56,651,695,845口
1万口当り基準価額（C／D）	28,999円

* 期首における元本額は56,891,999,288円、当期中における追加設定元本額は14,141,470,208円、同解約元本額は14,381,773,651円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ストック インデックス ファンド225 27,895,175,418円、適格機関投資家専用・ダイワ・ストックインデックスファンド225V A729,679,107円、大和 ストック インデックス225 ファンド9,955,023,672円、D－I's 日経225インデックス124,378,246円、iFree 日経225インデックス833,850,889円、DＣ・ダイワ・ストックインデックス225（確定拠出年金専用ファンド）5,332,826,806円、ダイワ・ノーロード 日経225ファンド251,076,604円、ダイワファンドラップ 日経225インデックス2,399,270,132円、ダイワ日経225インデックス（ダイワS M A 専用）9,740,271円、ダイワ・インデックスセレクト 日経225 9,120,674,700円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は28,999円です。

■損益の状況

当期 自 2017年9月20日 至 2018年9月19日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	2,657,009,415円
受取配当金	2,657,812,812
受取利息	1,123
その他収益金	398,728
支払利息	△ 1,203,248
(B) 有価証券売買損益	22,714,236,311
売買益	28,423,577,616
売買損	△ 5,709,341,305
(C) 先物取引等損益	547,105,405
取引益	902,243,165
取引損	△ 355,137,760
(D) その他費用	△ 817,994
(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）	25,917,533,137
(F) 前期繰越損益金	81,864,245,513
(G) 解約差損益金	△ 23,893,274,665
(H) 追加信託差損益金	23,745,042,792
(I) 合計（E＋F＋G＋H）	107,633,546,777
次期繰越損益金（I）	107,633,546,777

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。